

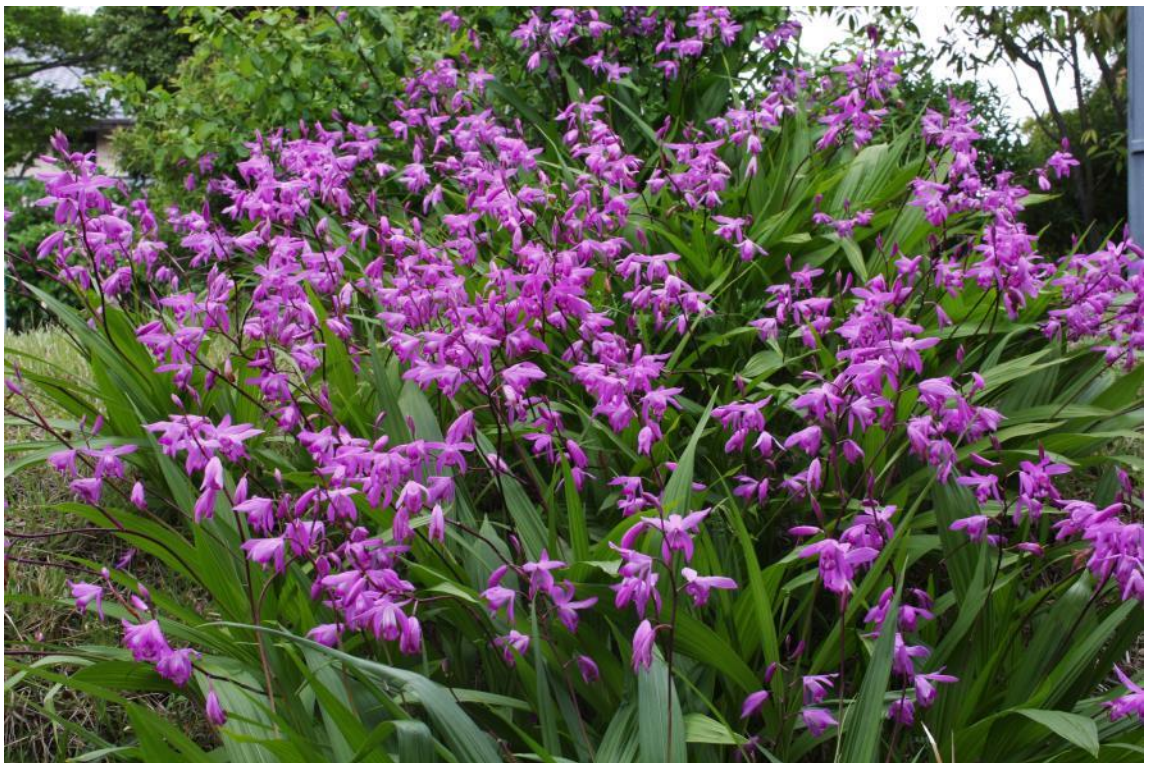
名前 ヤマボウシ(山法師または山帽子) 場所 窯のある広場



窯のある広場のヤマボウシの花が咲きました。花は皆枝の上側に空を向いて咲きますので、注意して見ないと気付かずに下を通り過ぎてしまいます。

これから第一駐車場のヤマボウシが咲くと、上側の土・どろんこ館から眺められます。

名前 シラン(紫蘭) 場所 建築陶器のはじまり館、第二駐車場



前回4月-3でお知らせしたシランが満開です。

名前 テイカズラ(定家蔓)

場所 テラコッタパーク

テイカズラの名前は、歌人として有名な藤原定家が式子内親王を愛するあまり、内親王の死後、鳶となって内親王の墓に絡みついたという能『定家』からきています。

小さなプロペラのような白い花からは想像できないような愛憎劇が花の陰の蔓に隠されています。



名前 ハゴロモジャスミン(羽衣ジャスミン)

場所 テラコッタパーク



テラコッタパークの北口付近を歩くと甘い芳香に気付きます。同じ仲間のマツリカがジャスミンティーに使われているように香りが良いものが多いようですが、ハゴロモジャスミンは特に香りが強いようです。

赤いツボミが開くと内側から純白の花びらが顔を出します。

名前 ハコネウツギ(箱根空木)

場所 土・どろんこ館、第一駐車場



ウツギという名前は茎の内部に空洞があることから来た名前です、分類上では異なる色々な植物が〇〇ウツギの名前で呼ばれています。

ハコネウツギは白く咲いた花がだんだん赤くなってゆくのと同じ枝に赤白が混在し、「咲き分け空木」や「源平空木」という別名もあります。

名前 タニウツギ(谷空木)

場所 第一駐車場、第二駐車場



タニウツギはハコネウツギと同じ仲間ですが、開花時から赤い花が咲き色が変わることはありません。

タニウツギは田植え花とも呼ばれ初夏を告げる花です。今年はまだ夏に入ったということでしょうか。

名前 エゴノキ 場所 テラコッタパーク



テラコッタパークの外花壇で小さなランプのような花を沢山ぶら下げているのがエゴノキです。

実に含まれるエゴサポニン
は界面活性作用があるため石鹼替わりに使われたと言われ、セッケンノキという別名もあります。

名前 モモイロヒルザキツキミノウ
(桃色昼咲き月見草)

場所 テラコッタパーク



マツヨイグサ属の月見草の仲間ですが、月見草が夜に咲くのに対し、こちらは名前の通り昼間に咲きます。白花種は単に昼咲き月見草と呼ばれます。

名前 ハクチョウゲ(白丁花)

場所 テラコッタパーク



10mmほどの小さな花ですが近寄って見ると漏斗状の花の先がきれいに5裂した美しい形をしています。花びらの外側は薄紫色、内側にも薄紫の細い筋があります。